

ポリオ撲滅へコンサート

神戸

関西ジャズの重鎮が熱演 甘い音色で500人魅了



舞台上で熱演する「ゴールデン・シニア・トリオ」のメンバーたち。東灘区民センター

世界の子どもたちを主催。収益をワクチンポリオ(小児まひ)から救うための「ポリオをなくそうチャリティコンサート」(神戸新聞社後援)が8日、神戸市東灘区の同区民センターで開かれた。関西ジャズ界の重鎮「ゴールデン・シニア・トリオ」などが出演し、甘い音色で約500人を魅了した。

県内73クラブ、約3千人の会員を持つ「国際ロータリー第2680地区」(中央区)が

70〜80代という「ゴールデン」のメンバーは「世界最高齢のプロジャズバンドとしてギネス世界記録に申請中」と自己紹介し、会場を沸かせた。ピブラホンやピアノを響かせ、名曲「オール・オブ・ミー」「暮情」などをしつとり演奏した。

同地区ガバナーの滝澤功治さんは「ポリオはかつては年に35万人が発症したが、さまざま活動のかいあって今では数百人。多くの人に病気や取り組みを知ってもらいたい」と訴えた。

(阿部江利)